

B-DASHプロジェクトの実施

～コスト縮減、エネルギー創出、海外展開を目指す～

JSでは、国土交通省が実施する下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)について、**地方公共団体・大学・民間企業等と共同で応募し、これまでに10件の実証事業が採択され、実規模での実証研究を実施。**

B-DASHプロジェクトの実施に加えて、地方公共団体の様々なニーズに応える新技術の開発・実用化を推進。

※各事業は、国土交通省国土技術政策総合研究所の委託研究として実施。

JSが実施するB-DASHプロジェクトの例

創エネ

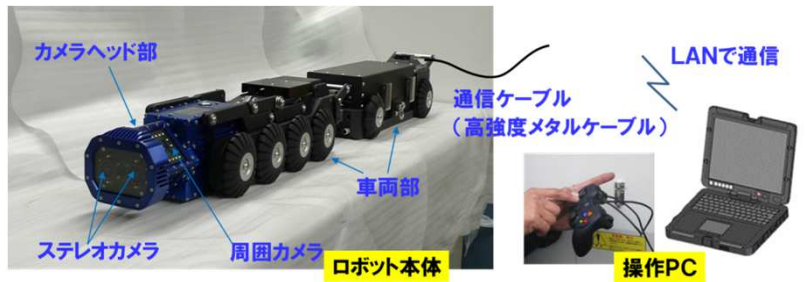
H25～H26
下水道バイオマスからの
電力創造システム実証事業



処理場**全体電力消費量の約30%相当**※注1のエネルギー創出
※注1 100t/日(24t-DS)における導入効果試算値

管渠

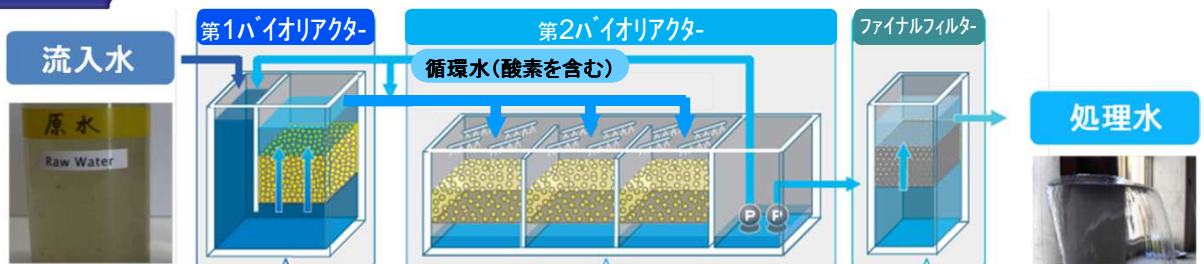
H25
高度な画像認識技術を活用した効率的な
管路マネジメントシステム技術実証事業



走行中90枚/秒程度の撮影、データを**自動認識で不具合箇所を抽出**。従来の自走式TVカメラに比べ、調査コスト**4割削減**、**日進量が1.6倍**に向上!

省エネ

H26～H27 無曝気循環式水処理技術実証事業



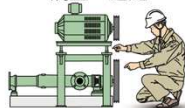
無曝気での酸素供給により**消費電力を大幅削減**。循環による安定した**良好な処理水質**の確保。

長寿命化

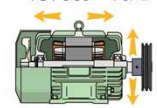
H27
ICTを活用した下水道施設の
劣化状況把握・診断技術の
実証事業

センシング技術で予測

振動センサー取付場所の
調査・選定



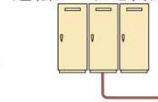
運転時の振動を
方向別に測定



測定値の周波数分析
と劣化診断

ビッグデータ分析技術で予測

計装盤などから
運転データを自動取得



関係性のモデル化による
故障予兆の早期発見



点検表などの
紙データを手入力



設備のライフサイクルコスト縮減。